

製品名: フラクタルカインウサギポリクローナル抗体**カタログ番号:** APRab11130

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	42kDa

抗原情報

遺伝子名	CX3CL1
別名	CX3CL1; FKN; NTT; SCYD1; A-152E5.2; Fractalkine; C-X3-C motif chemokine 1; CX3C membrane-anchored chemokine; Neurotactin; Small-inducible cytokine D1
遺伝子 ID	6376.0
SwissProt ID	P78423
免疫原	抗血清は、ヒト CX3CL1 の内部領域由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 231-280

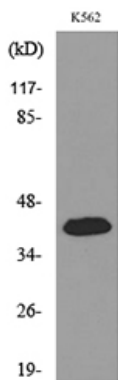
背景

機能: 可溶性型は T 細胞および単球に対して走化性を示すが、好中球に対しては走化性を持たない。膜結合型はこれらの白血球の内皮細胞への接着を促進する。内皮における白血球の接着および遊走過程の調節に関与する可能性がある。CX3CR1 に結合します。誘導: 肺血管内皮細胞および臍帯静脈内皮細胞において、TNF および IL-1 によって誘導されます。オンライン情報: CX3CL1 エントリ,PTM: 膜結合型の長いタンパク質から、タンパク質分解によって 95kDa の可溶性の短い型が放出される可能性があります。類似性: インタークリンデルタファミリーに属します。サブユニット: モノマー。組織特異性: 小腸、結腸、精巣、前立腺、心臓、脳、肺、骨格筋、腎臓、脾臓。機能: 可溶性型は T 細胞および単球に対して走化性を示しますが、好中球に対しては走化性を示しません。膜結合型は、これらの白血球の内皮細胞への接着を促進します。内皮における白血球の接着および遊走プロセスの調節に関与している可能性があります。CX3CR1 に結合します。誘導:肺血管内皮細胞および臍帯静脈内皮細胞における TNF および IL-1 による誘導。オンライン情報:CX3CL1 エントリ,PTM:長い膜アンカー型からタンパク質分解によって 95 kDa の可溶性の短い型が放出される可能性があります。類似性:インタークリン デルタ ファミリーに属します。サブユニット:モノマー。組織特異性:小腸、結腸、精巣、前立腺、心臓、脳、肺、骨格筋、腎臓、脾臓。、

研究分野

サイトカイン-サイトカイン受容体相互作用;ケモカイン;

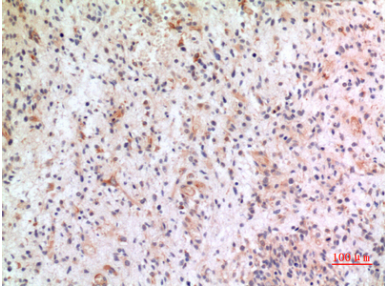
画像データ



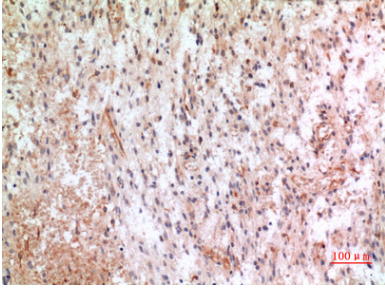
CX3CL1 抗体を使用した K562 細胞の溶解物のウェスタン ブロット分析。



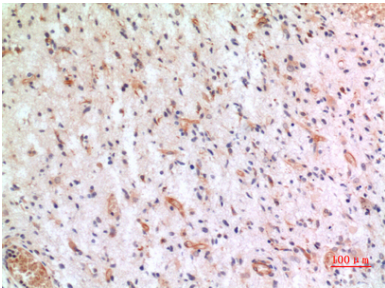
フラクタルカインポリクローナル抗体を用いた K562 細胞のウェスタンブロット分析。二次抗体は 1:20000 に希釈された。



パラフィン包埋ヒト脳の免疫組織化学分析、抗体は 1:100 に希釈された



パラフィン包埋ヒト脳の免疫組織化学分析、抗体は 1:100 に希釈された



パラフィン包埋ヒト脳の免疫組織化学分析、抗体は 1:100 に希釈された